

中学校及び高等学校の部

最優秀賞

「観光は沖縄のエネルギー」

那覇国際高校 3年 吉田 伸吾

私達の住んでいる沖縄は今年で復帰して四十年になりました。それにも関わらず、日本の米軍基地におけるおよそ七十四パーセントが沖縄にあります。これで日本に復帰したといえるのでしょうか。

沖縄が今直面しているのは、本土との経済格差です。二〇〇九年度の沖縄県の平均所得は四十六位となっており沖縄経済の脆弱性が浮き彫りになっています。観光によって安定した経済を活性化していき米軍基地に頼ることのない自立した沖縄に成長出来ると考えます。その為には沖縄の魅力を国内、海外へアピールをしなければなりません。

今年の3月に海外研修でマレーシア、シンガポールを訪れました。シンガポールは高層ビルなどの近代的な建物が多く綺麗な場所もたくさんありましたがバリアフリーという面では日本より完全に整備されていませんでした。

街中にスロープやエレベーターが少なく階段が多かったです。その時に一緒に行った友人は私をおぶってくれました。やはり足腰の弱い高齢者や障がい者などにとってはとても不便に感じると思いました。日本は世界から見て福祉に整備が進んでいることを実感しました。そしてホームビジットでは現地の一般の民家を訪ねました。車イスに乗っている私にとってはバリアフリーが整っていないと聞いていたので不安に思いましたが、実際に会ってみると優しい家族で私に握手を求めてきました。思っていたより、不便なく楽しい時間を過ごすことが出来ました。地元の手料理やゲームで和やかな雰囲気でもてなしてくれました。国境を越えても心と心が分かち合える事が身を持って経験をするこ

とが出来ました。

ちょっとしたトラブルが仮にあったとしても、いい思い出はそれ以上にもう一度訪問したいという気持ちになります。やはり旅行先では、発見や感動、感銘や喜び等を体験することでリピーターやロコミといった相乗効果が沖縄の経済の発展に繋がります。また誰もが行けるような施設整備は重要だと思います。

私は毎日学校から帰宅する時にモノレールを利用しています。乗る時はリモコンでステップが上がり、車椅子に乗っている私でも簡単に乗ることが出来ます。このようにモノレールは決まった時間で運行しているのでとても便利であると思います。外国の観光客の人が利用されている所を見かけます。これからの観光を考えてみると、モノレールの延長は観光の発展に無くてはならないと思います。

沖縄は世界から見ると、とてもアクセスしやすい位置にあり、観光客が今後増えることを見越して最近、県内に世界でも有名なホテルチェーングループが次々と開業しています。観光は平和産業です。観光された方が喜ばれて帰ることにより沖縄も潤うのです。沖縄の人は観光という大きなエネルギーがある事に気付いていないのです。沖縄の人が知恵を出し合い、沖縄を訪れた人が思い出を胸に笑顔で帰られたとしたら、沖縄の産業である観光はまだまだ伸ばしていける可能性を持っています。